



高島学園

中学校だより【第15号】

令和4年 11月22日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

○職場体験・素晴らしい経験になりました。

8年生が5日間の職場体験を終了しました。受け入れてくださった事業所さんには大変感謝を申し上げます。事業所の方、お客さま、幼少の子どもたち、いろんな人とふれ合うことで、生きる上で大切なことを学ばせていただきました。体験を終えて、生徒の成長した姿が見られます。

体験中にいくつかの事業所を訪問させていただきました。「とても姿勢よく、話にしっかり耳を傾けてくれます。素晴らしい生徒さんです。」「見てください、玄関のポスターを作ってくれたのですよ。上手でしょう。」「すごくよくやってくれます。とても助かっています。」などと、事業所の方々からお話をうかがって、真面目に、誠実に、頑張っていることが伝わってきました。

働くことの大変さと喜びを感じたと話してくれた生徒がいます。立ち仕事が続く厳しさや品出しを繰り返す大変さの中で、「ありがとう」と言われた時のうれしさはたまらないと感想を伝えてくれました。働かれる姿を見て、その仕事を目指したいと思う生徒もありました。また、働く家族への感謝を述べた生徒もいます。素晴らしい体験をさせていただきました。

職場体験を受け入れてくださったある事業所さんから学校に手紙が届きました。

(はじめ省略)

先週一週間、高島中学校8年生の生徒さんが、職場体験学習に来てくださいました。当初、コロナ禍でもあり、受け入れに対して積極的ではありませんでした。けれども、今回来ていただいた生徒さんは、体験学習に対する意欲があり、受け入れて良かったと感じました。

始めは緊張していたようでしたが、生徒さんはとても積極的に子どもたちとかわり、一緒に遊んでくれていましたので、子どもたちがしたって寄っていく姿が多く見受けられました。次第に慣れてくると園児の個性もしっかり把握して、いろんな子どもの動き方も察知して適切な対応をしていていました。各クラスの保育教諭のお願いしたこともしっかりと役割をこなしてくれて、大変助かったと申しておりました。

また、最終日には、各クラスの子どもたち全員に手紙を書িয়েくれました。クラスの先生にもお礼と感謝の手紙を自筆で書いてくれました。

生徒さんの中には、将来保育士志望の生徒さんもいると聞いております。保育教諭という仕事の大変さと同時に子どもとのかかわりを楽しいと感じてくれたのではないのでしょうか。5年後の教育実習の時にどのように成長しているか楽しみになってきました。

今回の職場体験学習での経験が生徒さんたちの自信につながっていくことを願いながら、感じたことを述べさせていただきました。

事業所の方の温かさを感じるとともに、学校外の場所でも、それぞれの生徒が持っている良い面を発揮してくれていることをうれしく思います。

○地域とつながり・今を盛り上げ、未来を創る

10月末日に大溝マルシェが行われ、生徒がボランティアをしました。中学生のおかげで幼い子どもたちも地域に交わり、とても活気あるイベントになったと聞きました。また、ガリパー文化祭では吹奏楽部の演奏やオタ芸のパフォーマンスで、中学生が地域を盛り上げました。いろんな場面で地域での中学生の活躍が目立ってきました。

7年生はMy Cityを修了するにあたり、地域の方と「わが町・高島」について話し合う座談会を持ちました。座談会のテーマは「どんな町にしたいか」「自分たちは何ができるか」です。グループで地域の人を交えて思うこと考えることを自由に発言し合いました。

☆「最近SNSで多くの人に知ってもらえることができるから、QRコードで、My Cityで行った市内のいいお店を紹介したらどうだろう。」

☆「人が増えるといいな。大きな商業施設があり、便利になれば、住む人が増えるだろう。」

☆「やっぱり環境を守りたい。ポイ捨てをなくして、ごみ拾いをする。」

☆「自然を生かしたい。温かさを残したい。」

地域の方々が、子どもの意見を全て笑顔で受けとめてくださいました。

受けとめてもらえる安心感は、自ら話そうとする気持ちや態度を育てるものです。温かさや寛容さの中で、人はいっそうに育つことができます。

参加くださった高島市所長さんが、「地域の子どもにかかわれるのはうれしいことです。高島の将来を担う子どもたちと話して、元気をもらいました。」と話しておられました。

右の写真は地域ボランティアをする活躍する中学生の様子です。



○いろんなところで「すごい高校生がいますよ。」

地域の方からのお話です。

「歴史博物館の前の車道のまんなかに麦わら帽子が落ちていました。下校中の中学生が、自転車を停めて、自転車から降りて、道路の真ん中まで行き、麦わら帽子を拾って、その付近で草刈り作業をしていた方に届けたのです。帽子の持ち主の方は『とても助かりました』と、すごく喜んでおられましたよ。高島中学校の7年生の生徒です。なかなかできることではないです。すごい生徒です。」と。持ち主の方が喜ばれたのはよくわかります。そのままだったら、その帽子は車道で車に踏まれてしまったかもしれません。けれど、自分が自転車に乗っているときのことを考えると、自転車を停めて、この行動をとることはなかなかできることではありません。すごいです。

高島警察署から高校生に感謝状が贈られました。

10月のことです。地域の行方不明になっておられた方を発見し、その方の保護に多大な貢献をしたということでした。その生徒に聞くと、様子が少し違ったので声をかけたということです。特にすごいことをしたという感じではなく、普通のことという様子でしたが、自分がその場にいたら行動に移せるだろうかと考えます。すごい行動です。

いろんなところで、良いと思うことを自ら実践する力を発揮してくれています。高島中学校の誇るところです。

11月18日(金)に県駅伝大会が希望ヶ丘総合公園で行われ、高島中女子チームが出場しました。県内の駅伝強豪校が勢ぞろいする中、全員が全力でたすきをつなぎ、大健闘でした。

